

連合災害関連ニュース

～2019台風19号災害～

発行：連合「2019 台風 19 号対策本部」

10月30日にスタートした連合ボランティアは、第1陣32名が福島県の伊達市、郡山市で活動を行っています。「一日も早い復興のために」という思いで汗を流しながら奮闘しています。

被災住宅地で泥かきや家財道具の水道での洗浄、片づけ作業等を行いました。現場での活動の様子を速報でお伝えします。

◆ボランティア展開中！

<福島県伊達市での活動>



↑ ボランティアセンターで注意事項を確認



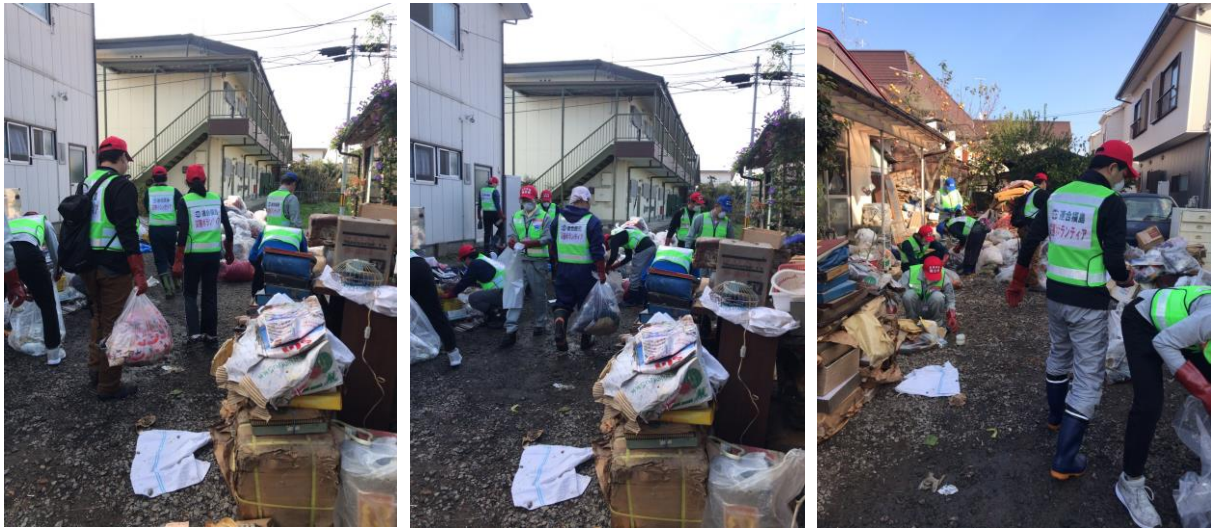
↑ 伊達市梁川地区の様子



片づけ・清掃活動の様子↑→



<福島県郡山市での活動>



お宅周辺の片づけ等を行いました

◆ 連合事務局長の被災地視察が新聞報道

連合 相原事務局長が福島県伊達市の被災状況の視察を行い、市長と人的支援に関する意見交換を行ったことが地元新聞で紹介されました。



連合の事務局長 相原康伸事務局長は、福島県伊達市の被災状況を視察し、市長と人的支援に関する意見交換を行ったことが地元新聞で紹介されました。

連合の相原康伸事務局長は二十六日、台風十九号の水害で市街地が浸水した伊達市梁川町を訪れた。須田博行市長と懇談し、人的支援の展開を約束した。

市梁川総合支所で須田市長が浸水当時の状況や被害状況などを説明した。相原氏は「連合福島と協力し、一日も早く人的支援の体制を整える」と述べた。

この後、被災地や震災ごみの状況を視察した。伊達市には三十一日も全国からボランティアが入る予定。

連合総合運動推進局の山根木晴久総合局長、連合福島の今野泰会長、八善正二事務局長と一緒に訪れた。

↑福島民報

連合本部事務局長 伊達梁川を視察

連合本部の相原康伸事務局長は26日、伊達市を訪れ、台風19号で浸水被害を受けた同市梁川町を視察、須田博行市長と意見交換した。

相原事務局長は「ボランティアを派遣し、一日でも早く市民生活を取り戻せるよう協力したい」などと語った。連合本部の山根木晴久総合局長、連合福島の今野泰会長らが同行した。



福島民友→

以上

★事務レベル連携会議事務局★

総合運動推進局・山根木、連帯活動局・森

電話:03-5295-0513 FAX:03-5295-0547 メール:rentai@sv.rengo-net.or.jp